

札幌市火葬場・墓地に関する運営計画 (案)

【概要版】



札幌市では、令和2年(2020年)3月に火葬場や墓地に関する問題と、それらへの対応について長期的な方向性を示す「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定しました。

このたび、基本構想に基づく取組を具体化した「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画(案)」を取りまとめましたので、皆様からの御意見を募集いたします。

【意見募集期間】

令和3年(2021年)12月24日(金)



令和4年(2022年)1月31日(月)

札幌市保健所生活環境課

【市政等資料番号】
02-F06-21-1948

意見募集要項

1 御意見の募集期間

令和3年(2021年)12月24日(金)～令和4年(2022年)1月31日(月)

2 御意見の提出方法

- (1) 郵送 : 下記5の宛先へ御郵送ください。
- (2) 持参 : 下記5の宛先へ御持参ください。受付時間は平日の8:45～17:15です。
- (3) FAX : 011-622-7311
- (4) メール: uneikeikaku@city.sapporo.jp
- (5) ホームページの意見募集フォーム
【http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/uneikeikaku_pubcomme/form.html】

3 御意見の提出にあたっての必要事項

- ・御意見の内容
- ・本書または概要版の該当するページや項目
- ・お名前、御住所、御年齢
※所定の様式はありません。どのようなものに記載いただいても結構です。
※お名前・御住所・御年齢は、御意見の集計以外の目的に使用することはありません。
札幌市個人情報保護条例の規定に従い、適切に取扱います。

4 札幌市火葬場・墓地に関する運営計画(案)の配布場所・閲覧場所

| 配布場所・閲覧場所 | 本書 | 概要版 |
|------------------------------------|----|-----|
| 市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー | ○ | ○ |
| 市役所本庁舎1階 パンフレットコーナー | | ○ |
| 保健所 生活環境課 | ○ | ○ |
| 各区役所 市民部総務企画課広聴係 | | ○ |
| 各まちづくりセンター | | ○ |
| ふれあいパンフレットコーナー (地下鉄大通駅定期券発売所並び) | | ○ |
| 札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(東) | | ○ |

※資料は、以下の札幌市ホームページからも御覧いただくことができます。

【http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/uneikeikaku_pubcomme/index.html】

5 御意見の提出先・お問い合わせ先

札幌市保健福祉局保健所生活環境課
住所: 〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階
電話: 011-622-5182

6 留意事項

- ・電話や口頭での御意見の受付や、御意見に対する個別回答は行っておりません。
- ・御意見の提出にあたっては、お名前・御住所・御年齢を記入してください。御意見の概要を公表する際には、お名前や御住所は公開いたしません。

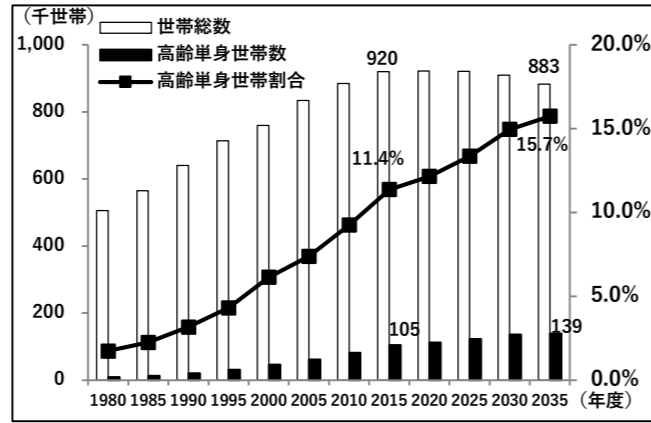
社会状況に関する背景

今後、人口の多い世代の方々が寿命を迎えられる頃、亡くなる方が多い状態が続く「多死社会」が本格化します。

「多死社会」が本格化すると...

- ・火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる。
- ・跡継ぎがないため、お墓が放置される。
- ・孤立死などにより引取者のいない遺骨が増えてしまう。

【札幌市の世帯数の内訳と推移】



亡くなった方の尊厳を保つことが難しくなります

こうした課題を解決するため...

市民

生前のうちから葬送のことを自分事として考え、行動するきっかけとしてもらう。

行政・事業者

多死社会に向けて、火葬場や墓地を安定的に運営し、必要な葬送を実現する体制を整える。

「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定

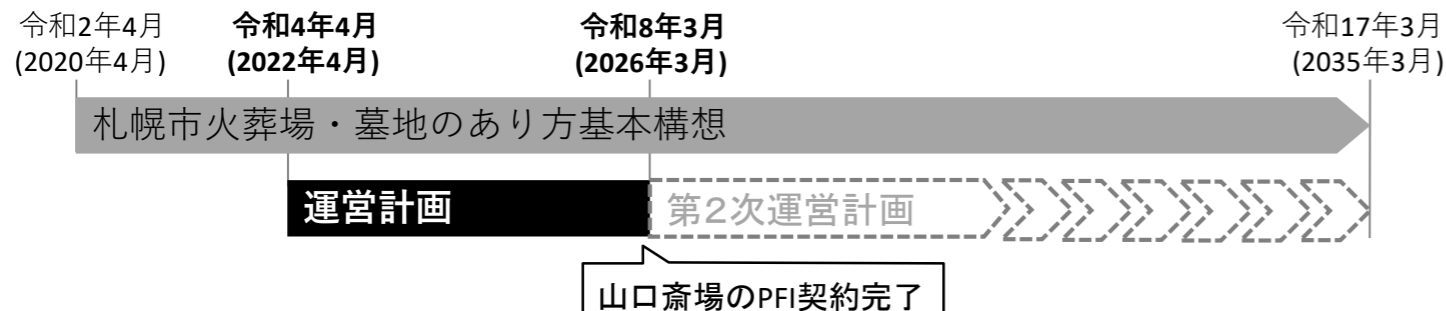
ビジョン(将来の目指す姿)

みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち
～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～

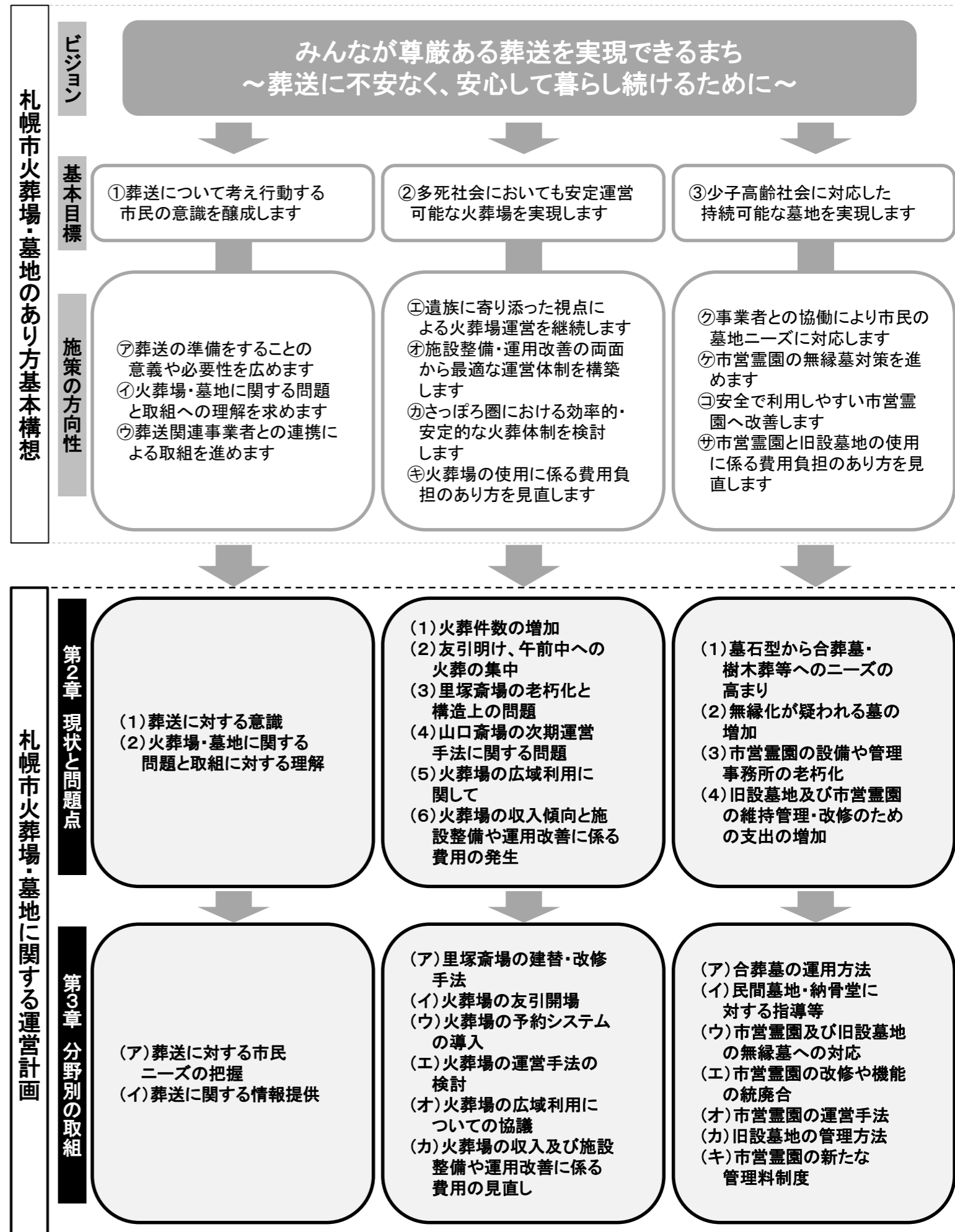
そして、基本構想で掲げたビジョンを実現するため...

基本構想で定めた施策分野ごとの現状と問題点を再整理し、分野別の取組を具体化した運営計画を策定します。

【計画の対象期間】



【基本構想と運営計画の関連性】



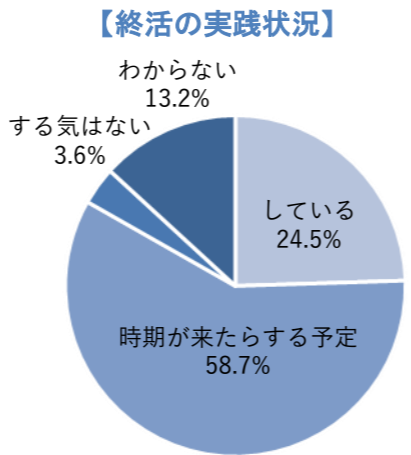
1 葬送に対する市民の意識 (本書P4～)

○葬送や終活の実践に対する意識

平成30年度(2018年度)の調査では、終活について約75%の方が肯定的な印象を持っていた一方で、「実際に終活をしている」方は約25%にとどまるという結果になりました。

○火葬場・墓地に関する問題と取組に対する理解

多死社会の到来により今後深刻化する火葬場や墓地に関する問題は、市民生活にも直結することから、しっかりと市民に理解してもらう必要があります。

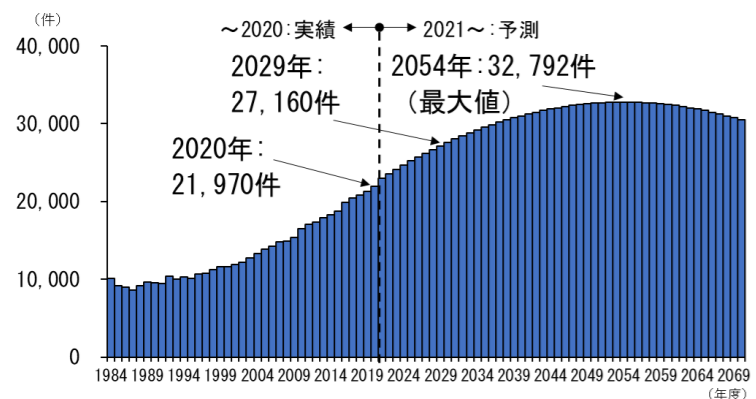


2 火葬場 (本書P7～)

○火葬件数の増加

今後、多死社会が訪れることで火葬件数が増え、令和36年度(2054年度)には約32,800件に達すると予測されます。

【年間火葬件数の推移】



○友引開け、午前中の火葬の集中

友引日に休場する運用を続けた場合、令和11年度(2029年度)ごろの友引明けには、既存施設の限界火葬件数(177件/日)に到達することが予測されます。

【休場日翌日の火葬件数の内訳】

| | 最小 | 平均 | 最大 |
|-----------|-----|------|------|
| 2018年度 実績 | 61件 | 94件 | 136件 |
| 2029年度 想定 | 79件 | 122件 | 177件 |

3 墓地と納骨堂 (本書P18～)

○旧設墓地及び市営霊園の維持管理・改修のための支出の増加
○市営霊園の設備や管理事務所の老朽化

開設から40年以上経過しており、今後、構築物の修繕や事務所の建替等に多額の費用がかかります。適切な維持管理を行うために、収支改善に向けた見直しを検討する必要があります。

【里塚霊園管理事務所】



○無縁化が疑われる墓の増加

少子高齢社会の進展に伴い、管理する人がいない、もしくは適切に管理されていない墓が増加しています。

【使用者への通知における返礼の割合】 (2020年12月末)

| | 使用区画数 | 返戻件数 | 返戻割合 |
|--------|--------|-------|-------|
| 平岸霊園 | 12,556 | 2,821 | 22.5% |
| 里塚霊園 | 26,201 | 5,040 | 19.2% |
| 手稲平和霊園 | 2,902 | 523 | 18.0% |
| 旧設墓地 | 5,475 | 1,335 | 24.4% |
| 計 | 47,134 | 9,719 | 20.6% |

1 市民の意識醸成 (本書P28～)

(ア) 葬送に関する市民ニーズの把握

- 民間墓地経営者や葬送関連事業者等とも連携しながら、イベントの場やインターネットアンケート調査等を活用して市民のより具体的なニーズを把握し、情報提供の取組に繋がります。
- 友引開場や市営霊園の新管理料制度実施などの取組を実施する際には、ワークショップなどを行い、市民との対話に努めます。



2 多死社会に対応した火葬場 (本書P34～)

(ア) 里塚斎場の建替・改修手法

- 建替時期や建替場所を選定のうえ、火葬場の規模や事業方式を検討し整備計画を策定します。

【里塚斎場】

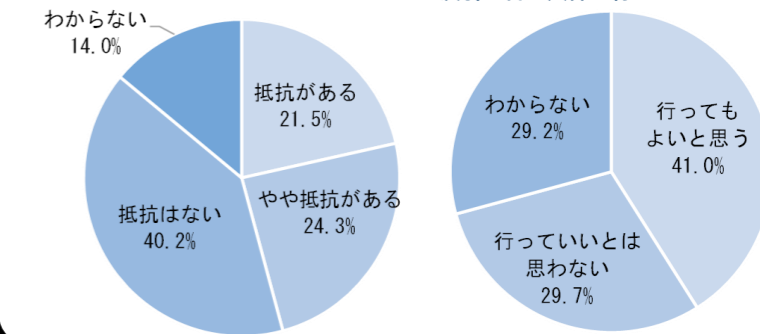


(イ) 火葬場の友引開場(重点項目)

- 友引に開場することで休場日翌日の火葬集中を解消し、混雑の緩和を目指します。
- 火葬件数は時期によって変動するため、火葬が多い時期(冬季等)に開場するなど、需要に応じた開場日数を検討します。

【友引開場に関するアンケート調査結果】

■友引の日の火葬についてどう考えるか ■友引の日に火葬を行ってもよいと思うか



3 少子高齢化に対応した墓地 (本書P48～)

(ア) 合葬墓の運用方法

- 多様化するニーズにも対応できるように利用希望者の条件及び受益者負担の考え方を再整理します。
- 合葬墓の新增設に向けた検討を実施します。

(イ) 民間墓地・納骨堂に対する指導等

- 民間墓地経営者と連携し、多様化する市民ニーズの把握に努めるとともに、市民ニーズを踏まえた墓地供給を推進します。
- 墓地等財務状況審議会を活用し、民間墓地や一定規模以上の納骨堂の財務状況を確認します。

(ウ) 市営霊園及び旧設墓地の無縁化への対応(重点項目)

- 戸籍調査を継続実施し、新住所や縁故者の有無等を確認します。
- 無縁墓の改葬方法や撤去の手順等を整理します。
- 調査結果により無縁墓と判定された区画は、空き区画としての活用を検討します。

【無縁化が疑われる墓】



運営計画策定に先駆け、令和3年度(2021年度)に実施した主な取組

(イ) 葬送に関する市民への情報提供

- ・ 庁内関係部局等と連携しながら、各種媒体を活用し、市民ニーズを踏まえた啓発を行っていきます。
- ・ パネル展等のイベント開催により周知、啓発を行います。
- ・ キャッチコピー、ロゴマークを活用した普及啓発を行います。

区役所でのパネル展示



ロゴマークの作成



札幌市立大学にロゴマークの作成を依頼し、同大学生の応募作品の中からデザイン学部2年生の小高梨乃さんの作品に決定しました。

<作品説明>

札幌市の花である一輪のスズランは札幌市民を表します。中央の手は、葬送と札幌の頭文字である「S」の形をしていて、スズランを大切に抱いている様子を描いています。

Twitterの開設(札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会)



成果指標

| 葬送に関する行動をしている市民の割合 | |
|--------------------|-------------|
| 現状(2021年度) | 目標値(2025年度) |
| 38.6% | 50.0% |

(ウ) 火葬場の予約システムの導入(重点項目)

- ・ 札幌市の火葬需要は午前中に集中し、火葬場の休場日明けを中心に待ち時間が発生しています。今後の火葬件数増加によりさらに待ち時間が増えることが想定されるため、予約システムを導入し、混雑の緩和を目指します。

【山口斎場入場前の車内待ち時間(実測及び予測)】

| | 2019年度 実績(※1) | 2025年度 予測(※2) | 2029年度 予測(※2) |
|------------|------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1日の火葬件数 | 48件 | 81件 | 87件 |
| 車内待ち時間(平均) | 18分 | 54分 ↓ 予約システム導入後(30分以内) | 66分 ↓ 予約システム導入後(30分以内) |
| 車内待ち時間(最大) | 61分 | 124分 ↓ 予約システム導入後(30分) | 138分 ↓ 予約システム導入後(30分) |

※1 2019年度12月25日の調査実測値 ※2 2019年度の調査実測値をもとに予測

(エ) 火葬場の運営手法の検討

- ・ 山口斎場はPFI事業により運営しており、建設・運営コストの削減と平準化に寄与しております。
- ・ 令和7年度(2025年度)で終了する現事業後もPFI事業での運営継続を目指します。

【山口斎場】



(オ) 火葬場の広域利用についての協議

- ・ 協定を結んでいる自治体との今後の利用の枠組みや、大規模修繕及び災害時の協力体制について協議を進めていきます。

(カ) 火葬場の収入及び施設整備や運用改善に係る費用の見直し

- ・ 今後の火葬場整備に費用がかかるため、料金体系の見直しや、特別控室の利用率向上に向けた見直しを検討し、火葬場の安定的な運営を目指します。

成果指標

| 火葬場入場前の車内待ち時間の抑制 | |
|------------------|-------------|
| 現状(2020年度) | 目標値(2025年度) |
| 64分 | 30分以内 |

(エ) 市営霊園の改修や機能の統廃合

(オ) 市営霊園の運営手法

- ・ 火葬場等他施設の状況も加味した上で、里塚霊園管理事務所の建替及び手稲平和霊園管理事務所の統廃合等を検討します。
- ・ 市営霊園のバリアフリー化を検討します。
- ・ PFI及び指定管理者制度の導入を検討し、利用者により良い運営手法を整備します。
- ・ 市営霊園の空き区画を活用した憩いの空間の創出や景観向上等を検討します。

(カ) 旧設墓地の管理方法

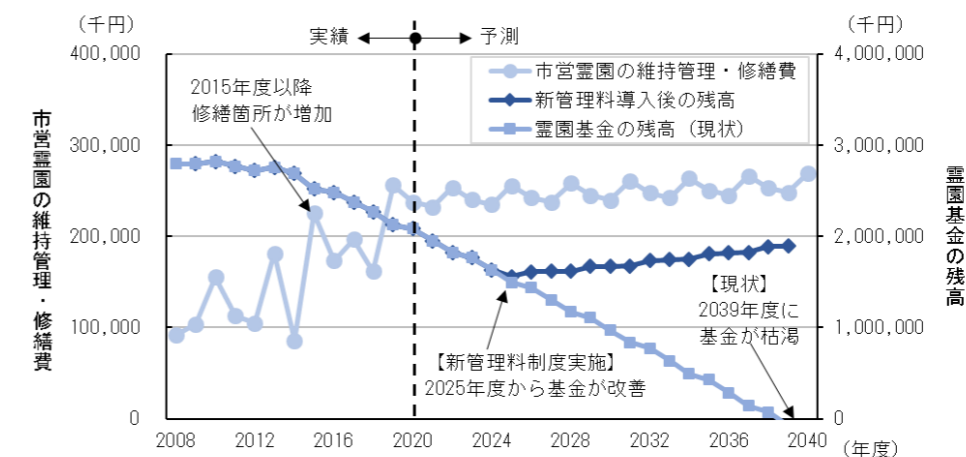
- ・ 案内看板の設置により、未許可墓の解消を図ります。
- ・ 受益者負担の考え方に基づいた管理料徴収制度の導入を検討します。
- ・ 旧設墓地の多面的な活用として、市民の憩いの場等の可能性を見据え、課題を整理します。



(キ) 市営霊園の新たな管理料制度(重点項目)

- ・ 使用開始から20年を経過している墓地使用者からの追加徴収に向けた検討を実施します。
- ・ 無縁墓対策を兼ねた徴収頻度を設計します。
- ・ 滞納者対策として、督促方法等についての考え方を整理します。

【市営霊園に係る経費及び霊園基金の残高の推移】



成果指標

| 無縁墓及び無縁化疑いの墓の割合 | |
|-----------------|-------------|
| 現状(2021年度) | 目標値(2025年度) |
| 21% | 13% |